

1 (1)  $A(1, -2, -1), B(-1, -1, 2)$  を通る直線  $l$   
 $\vec{AB}$  が方向ベクトルと取りうる。したがって、

$P$  は  $l$  上の任意の点とすると、

$$\underline{\vec{OP} = \vec{OA} + t\vec{AB} \quad //}$$

とできる。これを、パラメータ表示。

$$\begin{aligned} \vec{AB} &= \vec{OB} - \vec{OA} = (-1, -1, 2) - (1, -2, -1) \\ &= (-2, 1, 3) \end{aligned}$$

したがって、 $\vec{OP} = (x, y, z)$  とおいて

$$\begin{aligned} (x, y, z) &= (1, -2, -1) + t(-2, 1, 3) \\ &= (1 - 2t, -2 + t, -1 + 3t) \end{aligned}$$

成分を比較して

$$\begin{cases} x = 1 - 2t \\ y = -2 + t \\ z = -1 + 3t \end{cases}$$

$t$  を消去して

$$\underline{\frac{x-1}{-2} = \frac{y+2}{1} = \frac{z+1}{3} \quad //}$$

これが方程式表示。

(2) 原点を通り  $l$  と平行な直線。

方向ベクトルは  $\vec{AB} = (-2, 1, 3)$  である。

$$\vec{OP} = t\vec{AB} //$$

これをパラメータ表示。

$$\vec{OP} = (x, y, z) \text{ とおくと}$$

$$\begin{cases} x = -2t \\ y = t \\ z = 3t \end{cases}$$

$t$  を消去して

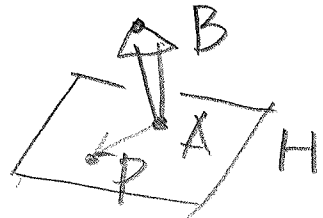
$$\frac{x}{-2} = \frac{y}{1} = \frac{z}{3} //$$

(3)  $A$  を通り  $l$  と垂直な平面  $H$ .

$\vec{AB}$  が  $l$  の法ベクトル  $H$  とおこす。

$P(x, y, z)$  を  $H$  上の任意の点とおく。

$$\vec{AP} \perp \vec{AB} \quad (*)$$



$$\vec{AP} = \vec{OP} - \vec{OA}$$

$$= (x, y, z) - (1, -2, -1) = (x-1, y+2, z+1)$$

よって (\*) を成分で表すと。

$$(x-1, y+2, z+1) \cdot (-2, 1, 3) = 0$$

整理して。

$$\underline{-2(x-1) + (y+2) + 3(z+1) = 0} //$$

これが  $H$  の方程式表示。

(4) 原点をとり  $l$  と垂直な平面。

$A$  を  $O(0, 0, 0)$  とおこす。

$$\underline{-2x + y + 3z = 0} //$$